

大阪市では、保護者や地域のみなさんによる学校教育活動のサポートを一層充実させるために、学校・家庭・地域が連携した教育コミュニティづくりを進めています。中学校区においては、様々な地域人材や社会資源を活かして、地域社会全体で子どもを育てる仕組み「学校元気アップ地域本部」を設置し、生徒の生活習慣の確立や学力向上など学校課題の解消に向け、学校のニーズに応じた取組みを行っています。

本事業は、平成21年度に8校で開始し、平成25年度には全ての区の市内全127校で実施しています。



ボランティア



自分自身がとても勉強になりました。

教える立場として、自分が問題の答えをわかって『教える』ということが本当に難しいと実感しました。本当に自分自身がとても勉強になりました。生徒たちとコミュニケーションをとることもでき、とても楽しかったです。

ボランティア



「できた！やった！」の場面に立ち会えることができて嬉しかったです。

ボランティア



自分もいろんなことに挑戦したいと思いました。

生徒たちが一生懸命頑張っている姿を見て、私もいろんなことに挑戦し、頑張っていきたいと思いました。

勉強する習慣をつけることができた

毎朝行くのがしんどくてつらい時があったけど、参加してよかったと思います。勉強する時間が増え、自習する時間が増え、勉強する習慣をつけることができました。

生徒



生徒



自分もやればできるんだ

今まで分からなかったり苦手だった勉強が少し「おもしろいんだ」「自分もやればできるんだ」と思うことができました。もし参加していなかったら、分からないところは後回しにしたり勉強がもっと嫌になっていたかもしれません。

生徒



話しやすかった

私は人見知りで初対面の人とは話したりしないのですが、先生の方から話しかけてくれて、勉強以外にも教えてくれたり、とても話しやすかった。

生徒



大学生のみなさんが優しかった

大学生のみなさんは、とてもやさしく教えてくれてすごく分かりやすかったです。まだまだ、分からないことがたくさんあるのもっと勉強を頑張りたいと思います。

生徒



体験談が参考になった

ボランティアの方から中学生時代の体験談を聞かせてもらったので、とても参考になりました。

教員



見守られているという安心感

地域の人が学校に来ることが定着しつつあり、生徒にとっても「見守られている」という安心感を持つようになり、落ち着いてきている。

教員



自主性が出てきた

学習会に参加している生徒は、ただ課題を与えられるのを待つのではなく、自分で計画を立て、教材を持参し取り組んでいた人が多かった。

保護者



親同士のつながり

この事業に関わることで、自分の子どもが卒業しても仲間ができ、親どうしのつながりが続いています。